中國新聞
発行所 広島市中区土橋町7番1号 〒730－8677
中国新聞社
電話(082)236-2111(受付案内台)
郵便振替口座 01370-0-57
© 中国新聞社 1998

核使用禁止条約 締結迫る

被爆53年 広島市平和宣言

平和首都 構築を決意

印パ大使前に両国非難

約5万人が参列し、原爆死没者のめい福を祈り、核兵器廃絶への思いを新たにした原爆死没者慰霊式・平和祈念式。手前は原爆ドーム
(6日午前8時12分、広島市中区の平和記念公園)

ヒロシマは六日、インド、パキスタンの核実験による核拡散・核兵器使用の危機感の高まりの中で被爆五十三年の原爆忌を迎えた。広島市中区の平和記念公園であった原爆死没者慰霊式・平和祈念式で、平岡敬市長は初めて核兵器使用禁止条約の締結交渉を提案。小渕恵三首相をはじめあいさつした五人も印パの核実験に憤りを表明し、核なき世界の実現を訴えた。両国の駐日大使が核実験実施国では初めて姿をみせ、ヒロシマの呼び掛けに耳を傾けた。

(夕刊一部既報)

式典は午前八時に始まった。気温二八・八度。原爆が投下された八時十五分、遺族、子ども代表が「平和の鐘」を打ち鳴らした。澄みきった音に合わせて、セミしぐれが響く中、昨年より五千人多い五万人の参列者が一斉に黙とうした。

平岡市長が平和宣言に立った。「惨劇から五十三年たった今、世界は新たな危機に直面するに至った」。印パの核実験応酬を厳しく非難し、核兵器廃絶の具体的ステップとして、核兵器使用禁止条約の締結交渉を直ちに始めるよう世界に発信した。

被爆国として、核兵器廃絶に向けて世界のリーダーシップを取るよう日本政府にも求めた。国民に対しては「核兵器に頼らぬ安全保障の方策を真剣に考えねばならない」と指摘。広島平和研究所設立を「平和首都」を目指すヒロシマの意思の表れ―と位置付けた。核兵器のない世界を目指し、都市・市民の連帯で国際政治を動かす考えも示した。

小渕首相はあいさつで、印パの核実験を「極めて遺憾」とした。そのうえで、両国政府に核拡散防止条約(NPT)、包括的核実験禁止条約(CTBT)の無条件締結を求めていることを強調した。

さらに、今月三十日に国際フォーラム「核不拡散・核軍縮に関する緊急行動会議」を発足させ、一年以内に世界に向けた具体的提言をする取り組みを紹介。「核兵器国の核軍縮を一層進展させることが被爆国の使命」と述べた。

子ども代表による「平和への誓い」は、草津小六年大谷快君(一二)と翠町小六年堀越千尋さん(一二)が朗読した。さわやかな声で交互に平和の大切さや被爆体験の継承を訴え、最後に声をそろえた。

「夢と希望をもって、世界の友達と手を結び、本当の平和を作り出す心が世界中に広がっていくよう努力することを誓います」

印パ両国の駐日大使は、最前列に設けられた特別貴賓席に一人をはさみ、並んで着席。中央を見据えたまま、じっと平和宣言や平和への誓いに聞き入った。

この日、原爆慰霊碑に奉納された原爆死没者名簿には、この一年間で新たに四千九百二十七人が記帳された。登載総数は二十万七千四十五人に上る。被爆者の平均年齢は今回、六七歳代を超え六八・一歳となった。

「恒久平和」「せんそうはいやだ」

祈りと願いと灯ろう揺れる

元安川など

追悼の思いや平和への祈りを乗せ、川面に揺れる色とりどりの灯ろう
(6日午後7時30分、広島市中区の元安川)

原爆で犠牲になった人たちを弔う灯ろう流しが六日夜、広島市内の二つの川であった。死者をしのぶ遺族らの思いと、平和を願う人たちの祈りを乗せ、色とりどりのともしび約一万個が川面に揺れた。

午後六時前、平和記念公園の元安川にある親水護岸で開会セレモニーがあり、広島平和研究所の明石康所長が「平和をつくるには、粘り強い努力しかない」とあいさつ。「恒久平和」と書いた灯ろうを流した。

遺族や市民がそれに続いた。赤や黄、紫…。夜のとばりが下りると、カラフルな灯ろうが水面に浮かび上がる。「へいわをいのります」「せんそうはいやだ」…。次代を担う子どもたちの祈りも目立った。

南区宇品海岸一丁目の浜田夏子さん(八二)は、十八年前に亡くなった夫をしのんで手作りの灯ろうを持参した。「毎日のように夫のことを思い出します」と、川面を見つめていた。

祈念館 予定通り建設

2000年サミット 地方開催を示唆

首相会見

平和記念式典参列のため広島市を訪れた小渕恵三首相は六日、中区内のホテルで記者会見し、国が平和記念公園内に建設する「原爆死没者追悼平和祈念館」について「建設されるのが望ましい」と予定通り計画を推進する考えを示した。

祈念館をめぐっては今年三月、小泉純一郎前厚相が国会答弁で計画見直しを示唆した。しかし、首相は「被爆者援護法などで早期に設置するとされている」と計画見直しを否定。「九月にもまとまる厚生省の検討委員会の報告を受け、建設の具体的作業に入りたい」と明言した。

広島市も開催地に名乗りを上げている二〇〇〇年の主要国首脳会議(サミット)に関して、「これまで三回東京で開いており、次回は地方開催が望ましい。今の段階ではどこが適当か判断していない」と述べた。ロシアの開催希望については「開催国の変更はあり得ないだろう」と順番通り日本開催となる見通しを表明した。

臨界前核実験については、「包括的核実験禁止条約(CTBT)で禁止されていない」と従来の政府見解を踏襲。その上で「能力がありながら核保有をしなかったり、開発を中止したブラジル、アルゼンチンなどと連携を密にして、保有国の核軍縮が確実となるよう日本の立場を主張していきたい」と強調した。

不登校が10万人突破

中学生は53人に1人

文部省調べ

全国8000校に相談員配置へ

「学校嫌い」を理由に一九九七年度中に三十日以上欠席した不登校(登校拒否)の小中学生は、前年度比約一万二千人増の十万五千四百十四人と、初めて十万人を突破したことが六日、文部省の学校基本調査で分かった。中学生は五十三人に一人、小学生は三百七十八人に一人で、不登校の割合も過去最高となった。

不登校増加に歯止めがかからないことなどから、文部省は二学期から全国八千校に「心の教室相談員」を配置するとともに、対策を立てる一環として、不登校がその後の生活にどう影響しているかなどを探るため、不登校を経験した子どもを対象に初めて追跡調査する。

調査結果によると、三十日以上の長期欠席者は小学生が八万一千百六十三人、中学生が十四万二千百五十四人。うち病気や経済的理由などを除いた「学校嫌い」の欠席者は、前年度に比べ小学生が千二百五十六人増の二万七百五十四人、中学生が九千八百七人増の八万四千六百六十人。

不登校は「三十日以上」で統計を取り始めた九一年度以降、小中学生とも毎回増えてきたが、今回は特に中学生が前年度比一三・一%と増加率が高い。全児童・生徒に占める割合は小学校が〇・二六%、中学校が一・八九%となった。

また同時に調査した今春卒業の大学生の就職率は、前年比一・〇ポ減の六五・六%と、五一年以降最悪となった。

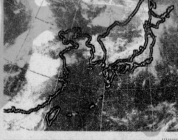
政府広報
北方四島を知っていますか?
―8月は北方領土返還運動全国強調月間です―
●北方四島とは、歯舞(ハボマイ)群島、色丹(シコタン)島、国後(クナシリ)島及び択捉(エトロフ)島の四つの島をいいます。
●歯舞群島の貝殻島は、北海道根室半島の納沙布岬からわずか三・七kmという近さです。また、四島を合わせた面積は、五、〇三六km²で、福岡県とほぼ同じ大きさです。
●日本固有の領土である北方四島の早期返還を実現するためには、国民世論の結集が不可欠です。
総務庁ホームページ http://www.somucho.go.jp/
北方領土問題対策協会ホームページ http://www.hoppou.go.jp/
総務庁

天風録

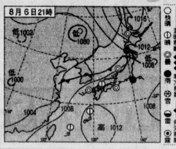
岩村昇さんにとって、静穏な祈りの一日だった。神戸市の隣、三木市の自宅で原爆の犠牲になった級友たちをしのんだ。岩村さんはネパールでの結核治療などアジアの医療向上に貢献してきた。根底には広島での被爆体験がある▲旧制広島高等工業専門学校の応用化学科二年生の夏。千田町の薬品倉庫で、薬品を点検する作業中だった。突然、青白い光が走る。激しい衝撃とともに、気を失った。頭部裂傷で呉市の病院に運ばれ、輸血で助かった▲その時、油脂製造の家業を継ぐのをやめ、医師になる決心をする。級友たちの生命と輸血に応じてくれた人たちの行為にこたえたい。幼い時から洗礼を受けたクリスチャン。日曜学校で教わった「『ルカによる福音書』のサマリア人のように、苦しんでいる人を救う人になれ」に従ったわけだ▲一九六二年からのネパールでの医療奉仕活動は十八年に及び、世話をした孤児からは父と慕われた。帰国後は、8・6の広島訪問を欠かさなかった。アジアの研修生を原爆資料館へ必ず連れて行った。しかし、それも四年前からできなくなった。骨髄の造血機能が低下する原爆の後遺症で、活動を制限されている▲ヒンズー教徒が多いネパールは親インド路線。岩村さんは印パの核実験には激しい憤りを覚えた。「反核」を広島に伝えるメッセージを、式典に参加した医師仲間に託した▲国際人材開発機構理事長の傍ら、私大で「人間学」を教える。アジアでの医療活動などを盛り込んだ講座。「生きるとは弱き者と分かち合うこと、共生です」。七十一歳の今、共生は平和に通じると確信する。

きょうの天気

(□は降水確率(%)朝(6－12時)、昼(12－18時)、夜(18－24時)の順)



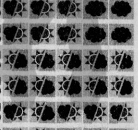
6日21時「ひまわり5号」撮影



【概況】太平洋高気圧の勢力がやや弱まり、日本海の前線が山陰に近づく。大気の状態が不安定になるため、山陰地方を中心に雲が広がりやすく、雨や雷雨の所もあるだろう。(広島地方気象台発表)

地域	朝	昼	夜	天気
広島	10	10	10	晴
山口	0	10	0	晴
岡山	10	20	10	晴時々曇
島根	20	20	10	曇
鳥取	40	50	40	曇一時雨
愛媛	0	10	10	晴
東京	50	10	0	曇後晴
大阪	30	30	20	曇時々晴
福岡	0	10	10	晴
札幌	20	20	10	曇
仙台	70	50	20	雨後曇
鹿児島	0	0	0	晴
沖縄	10	20	10	晴

週間 広島 山口 岡山 島根 鳥取
7日(金) 8日(土) 9日(日) 10日(月) 11日(火) 12日(水) 13日(木)



主な記事

ヒロシマ原爆忌関連(2・3・5・9・26・27面)
"巨人キラー"山内復活(21面)
患者尿から700倍のヒ素(27面)
◇15面・くらし「広がる障害者の在宅勤務」

中国新聞ホームページ http://www.hiroshima-cdas.or.jp/chugoku-np/

トワイニング紅茶を贈るなら、添える言葉はいりません。その豊かな味と香りが、あなたの真心を伝えます。
TWININGS
片岡物産

むぎ焼酎 かのか 協和発酵

ミセス 9 September 1998 No.523 月号発売! 定価1,000円(税込) 文化出版局
〈ファッション特集〉自分らしい生き方を輝かせるおしゃれは楽しい
美しい年代。大人の季節が始まる
カントリーで過ごす日曜日
季節のはざまのおしゃれレッスン
スカーフコレクション
もっと気軽にきもの
坂東玉三郎さんと楽しむ琳派
〈特集〉おいしいフランス
ワインと一皿のごちそう
シェフの休日
暮しにやすらぎの時間
目もと生き生き
元気が生まれる、朝ごはん
週末は自然の中で
「私の東京物語」
母と子の絆の物語

表紙の人 南 果歩さん
ミセスのスタイルブック 初秋号 発売中! 文化出版局

人生のレシピ MOOK SERIES 本日発売 No.8
犬と暮らすレシピ
いつも一緒にもっと楽しく
中央公論社

婦人公論 8/22号 本日発売
特集 さあ、人生の新学期 少し自分を変えてみる
30代からの人生再挑戦、彼女たちの場合
藤本ひとみ
ルビー・モレノ
仕事を変えた、生き方が変わった!
高橋いづみ
笠井紀美子
主婦だって「ちょっと留学」できる
自分自身のためのボランティア入門
私はこうして「天職」をつかんだ
あなたの転機予報「傾斜宮占い」でみる
ダイアナ記念館探訪記
絶対鈍感とダイタイ敏感
三國連太郎
わかぎえふ
桃井かおり×イッセー尾形
三田村邦彦

"風通しのいい毎日"を目指す女性たちとともに 毎月7日・22日発売 定価550円(税込) 中央公論社